

第7回 杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会

会 議 名	第7回杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会
日 時	令和5年5月8日（月）午後2時00分～午後4時15分
場 所	西宮中学校 2階多目的室
出 席 者	懇談会委員21名（欠席9名）
傍 聴 者	1名
次 第	1 前回の主な意見等について 2 今後の進め方及び懇談会のまとめについて
資 料	資料1 第6回懇談会の主な意見等について 資料2 杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会まとめ（案）

進行役	<p>それでは時間になりましたので、ただいまから第7回杉並区立西宮中学校・宮前図書館改築検討懇談会を開催いたします。本日はお忙しい中、懇談会にご出席いただきましてありがとうございます。わたくしは司会を務めさせていただきます、本校校長の宮崎と申します。よろしく願いいたします。本日も最大で2時間程度を予定しておりますので、進行についてご協力の程よろしく願いいたします。</p> <p>また、本懇談会を傍聴したいと希望される方がいらっしゃる場合は、基本的に認めることとなっております。なお、傍聴の方は発言できませんので、ご協力の程よろしく願いいたします。</p> <p>まず、資料の説明に先立ちまして、区の職員に人事異動があったとのことですので、ご紹介をお願いいたします。</p>
学校整備担当部長	<p>皆さんこんにちは。中村の後任で参りました。学校整備担当部長の岡本と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>申し訳ありませんが、私はこの後会議が入っておりますので、3時10分をもし越えるようなことがありましたら途中で退席させていただきますのでご了承ください。</p>
学校整備課長	<p>皆様こんにちは。私は学校整備課長の青木誠と申します。前職3月までは集会施設の担当課長をしておりました。</p> <p>地域区民センターだとか区民集会所、あとコミュニティふらっとなど</p>

	<p>の整備や運営を担当しておりました。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
中央図書館長	<p>皆さんこんにちは。この4月から中央図書館長を拝命いたしました出保と申します。今日、今おてもとにある名簿の裏側の一番下にあります。原田の後を引き継ぎまして中央図書館長をやらさせていただくことになりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
進行役	<p>続いて配布資料の確認等を事務局からお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>(配布資料の確認)</p>
進行役	<p>それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。 次第1「第6回懇談会の主な意見等について」、事務局より説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>資料の1の方をご覧ください。今回は1月の第5回に続きまして、改築規模のこと、それから配置計画のこと、それからパターン①からパターン③まで施設の複合化のパターンについて、さらにコスト面ですとか、メリット・デメリットですとか、あと、大宮前保育園の現地での建て替えが難しいというところを補足的に説明させていただいて引き続きご意見をいただいたところです。</p> <p>主なところをご紹介しますと、まず1ポツ目で学級数のことですが、今後の子供たちの数の増加や学級数のことを見据えて、考えてほしいというところ。それから特別支援学級の充実もしっかり考えてほしいというところで3ポツ目。</p> <p>4ポツ目ですが、保育園のことを考えるとパターン①というところも思うけれども、中学校というところでは単独の改築で面積が広がるパターン③もよいと感じるけれども、なかなか判断が難しいというご意見があったかと思えます。</p> <p>それから図書館を複合化する場合にはさざんか教室のような小学生を含めて地域の子供が学校以外でも活動、勉強できるような場所があるといいのではないかと。というようなご意見いただいかと思えます。簡単ですけども資料1の説明は以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。これについてなにかございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>続きまして次第2「今後の進め方及び懇談会のまとめについて」、ご説明をお願いします。</p>
学校整備担当	<p>私のほうからご説明させていただきます。このカラー刷りのA3の両</p>

部長	<p>面刷りの4ページ、最後のページをご覧いただきたいのですが、皆様にはですね、長い期間にわたって、この懇談会にご協力いただきましてありがとうございます。少し復習の意味を込めて直近の5回目、6回目、2回の懇談会でですね、中学校と図書館の複合化というのが4ページの真ん中にありますパターン①・②・③とありますが、当初パターン①とこの資料でいうとパターン②というものです。</p> <p>それとか学校だけの単独改築として図書館と集会施設を複合化する。この資料でいうとパターン③を含めてお示しさせていただいて、皆様にご意見ご議論いただいたところでは、</p> <p>これに対する懇談会の中での皆様のご意見ご議論として、パターン②と③について「こういうところがいいですね」と評価するご意見を沢山いただいたと我々思っております。</p> <p>またそれとあわせてですね、昨年度はこの改築にあたりまして、設計会社に委託をしてですね、いろいろなパターンで配置、それから平面計画のシミュレーションを行ってきたところでは、</p> <p>そうしたなかで皆様もご記憶にあらうかと思いますが、パターン①で校庭面積を現状以上に確保するという風にしますと、地下を掘って活用する必要が出てきてですね、やはりこれだけの大きな面積のものを学校の一部ですけれども、地下を掘るということは、非常にコストもかかってくるということも浮き彫りになってきたところでは、</p> <p>いろいろなご議論いただいて検討する中で、区として当初考えておりました中学校と図書館の複合化を視野に検討していくということで、現在の計画を進めてまいりましたが、改めてこの懇談会でいろいろなご意見をいただきましたので、改めて、この計画について見直しを含めて再検討が必要という風に考えてこの間区役所の内部でこの改築の検討会について検討を行ってまいりました。</p> <p>その結果なんですけど、4月18日に区内部で意思決定を行いました。区では政策調整会議という言い方をしているのですが、区の大きな計画とか方針とかそういうものを位置づける会議があるんですけども、その中でこの場で皆様にご議論いただいた検討状況やご意見、そういったものを話して今日お集まりいただいている、現在のこの改築懇談会をいったん終了して、改めて今後は中学校と図書館に限らず、最初皆様にお集まりいただいて話したときは、この中学校と近隣の宮前図書館の複</p>
----	---

合化というところでご提案申し上げてお話をしてきましたが、いろいろなお意見がありまして、その中でですね、今日資料にもあります、いくつかのパターンを例としてお示しする中で、さらにまたいろいろなお意見をいただきましたので、これに限らず、今度はこの周辺にも図書館だけではなくて、いくつかの区立施設がありますので、学校を中心としたというのではなくて、広く捉えてですね、地域全体を捉えた施設再編ということについて、進め方を含めて再検討しようということを決めました。

資料2の今、お手元に見ていただいています一番下ですね、今後の進め方というところを見ていただきたいんですが、左側の囲みですね、白い部分の太字のゴシックですけども、ここで今私がお話しした今回の意思決定の内容を記載しているところです。

今後について、仮にですね、この同じページにあります、中ほどにありますパターン②とかパターン③。こうしたところですね、方向性を切るにしても皆様もご存じの方も多いと思いますが、ここにはさざんかステップアップ教室ですとか、それから学校の北側には保育園もございませし、その他にもゆうゆう館とか集会施設。こうしたですね、宮前の地域にある関連する区立施設の関係者も大勢いらっしゃいますので、そうした方々の意見を幅広く聞いていく必要があるだろう。ということになりまして、現在、この間お集まりいただいておりますのは、中学校と図書館の関係者を中心として、それから近隣の町会ですとか様々な関係者の方にご協力いただいておりますが、このメンバー構成をもう少し広げて進めていきたいという風に考えています。

今後については、今日、今この場で、じゃあ「次はこれとこれを組み合わせる」だとか「これはこうする。」といったものを持ち合わせているわけではないので、「じゃあ、今まで検討してきたからこれにする。」ということをお示しするわけではないのですが、資料2の右側にある今後の進め方のイメージで4ページの右下ですね、これをちょっと見ていただきたいのですが、年度でスケジュールを入れておりますが、今年度ですね、区がいろいろな事業を進めるうえで実行計画というものを立てているんですけども、それを改定する年になっていきます。今までは施設再編の中でですね、学校は改築にあててたんですけども、そこを少し修正してですね、今年度実行計画の改定を行う中でですね、学校を中心とした地域についての進め方を考えて、それでですね、来年度改めて、仮称なんですけれども、宮前地域の懇談会という形で改めて地域の方々の

話をお聞きする場を設けて進めていきたいと考えています。

来年度以降はあくまで現時点で想定イメージとカッコ書きにしますけども先ほど冒頭にお話ししたとおり、中学校と図書館だけではなく、他の周辺の区立施設がございますので、そうした方々の意見も含めて、仮称ではありますが、「宮前地域懇談会」という形で立ち上げて、もっと幅広く意見を聞いて地域の施設再編のあり方を考えていきたいと想定しています。

そこで、地域再編の枠組みとして、「こことここを一緒にする。」とか「ここは単独にする。」とか「ここはいつの時期ぐらいに改築ができるんじゃないか。」とか、そうしたことを話し合っ、それが決まってくれば、年度で言えば令和6年度の後半になりますが、区役所は予算と計画がないと動けませんので、そこで皆様のご意見を踏まえてですね、令和6年度の後半には計画の年次改定というんですけども、ここにどのタイミングでどんな形でというのを反映させて中学校については令和7年度、2年ずらして令和7年度から改めて「改築検討懇談会」を設置して改築に向けた具体的な検討と基本設計を進めていきたいと考えております。

例えばなんですけども、今日お示した資料の②というように、中学校と集会施設の複合化ということになったとすると、仮にですけども、なった場合に、そうしたら中学校の関係者と集会施設の関係者で懇談会を構成することになると思います。

ですけども、まずは「なにとなにを」という決め打ちではなくて、いろんな方を含めて改めて地域の懇談会をやって、その場で意見をある程度集約して、仮に今お話ししたように②のパターンが。というようになれば②のパターンの関係者の方を改めて学校改築の懇談会としてご協力いただいて、お話を進めさせていただきたいという風に思っております。

この懇談会では、これまで今日お集まりいただいているこの懇談会ですね、長きにわたって皆様からたくさんのご意見、そして貴重なご意見をいただいてきたものと私共承知しております。

今日ですね、前回、前任の中村からお話しさせていただいておりますが、今日はですね、この会としては最終回という風に考えておりますが、最終回にあたってはですね、今申し上げたように、皆様のご意見を今後の検討に活かしていきたいという風に思っております。

この懇談会は、必ずしも一定の結論が出たという風には言えないと思

	<p>っております。ですが、これまで皆様からいただいた主な意見をまとめて、懇談会のまとめとして今後活かしていきたいという風に考えてございます。私からは以上です。</p>
進行役	<p>今、いろんなお話がありましたけれども、ここまででご意見ご質問などございましたら、挙手をお願いします。</p> <p>では、よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>今後の進め方ですけども、当初の予定より2年遅れているということではないでしょうか。当初の予定ですと、令和8年度新校舎建築工事が始まるという予定でしたけれども、完全に2年遅れました。という認識でよろしいのでしょうか。</p>
学校整備担当部長	<p>そうですね。最終決定ではないですけども、概ね2年ずれるという風にお考えいただければと思います。</p>
進行役	<p>よろしいですか。他にございますでしょうか。</p>
委員	<p>今の説明で令和5年度区の計画改定。これは役所の中の方だけのことですか。中身は。何を一体一年間ここでなさるのでしょうか。私たちの中でこうやって一年間会話を進めてきて、パターン①・②・③の中でどれがベストかなって討議をしてきました。</p> <p>その中でまァ②か③かなという方向性が出てきたかな。という風に認識しているんですけども、それを受けてですね、区だけで1年間何をなさるかが見えないんですけども何をなさるんですか。</p>
施設マネジメント担当課長	<p>区全体の計画の改定にかかわることですので、私の方からお答えさせていただきます。今おっしゃっていただいたように、この懇談会の中では先ほど部長の方からご説明させていただいたとおり、いろいろなパターンをお示しした中で今おっしゃっていただいたとおりパターン②や③を評価していただく声を多くいただいたという風に受け止めているところです。</p> <p>学校の改築も含めた施設の老朽化に対して再編をどのように進めていくかというところについて、区としては改めて進め方自体を含めて考えていかななくてはならないという風に思っているところです。</p> <p>というのも、今回の例えば西宮中の懇談会におきましても、区の方から図書館との複合化を視野にということで、計画というものを作っただけで皆様にこういう案はどうでしょうかという形で入って参りましたけれども、やはり議論を進めていく中では、それに対する課題であったりですとか、あるいはもっと他の視点があったほうがいいんじゃないかということが、いろいろ、ご意見をいただいて、まさに、そういうこと</p>

	<p>だなど私共受け止めております。</p> <p>そうしますと、この区立施設の再編、老朽化の問題と、ここの西宮中学校の改築だけではなくて、今区内全域で進めているところなんですけども、その進め方自体も、今までは区が計画を決めて、そこから皆さんに入っていくという形だったんですが、そもそもそういうやり方がいいのかどうなのかということも、この西宮地域だけのことではなくて、全体として考えていかなくちやいけないのかなと考えております。</p> <p>今、その今まで再編に取り組んで進めてきた進め方、あるいはその中身がどうだったのかという、検証という作業を昨年度から進めさせていただいておまして、その検証作業をこの秋にはまとめていきたいなと思っております。</p> <p>その中で、どのような進め方がいいのかということ自体も含めて決めていきたいなという風に思っておりますので、その検討にお時間をいただくような形になってしまうようなところがあります。その中で、例えば、今部長からご説明させていただいたとおり、学校の改築についてはもう少し目線を広げて、宮前地域全体の施設再編を考えていくような形で進めていこう。それは、西宮地域・宮前地域だけではなくて、荻窪ですとか阿佐谷ですとか、そういうようなところで、こうした老朽化の問題に取り組んでいくときには、そういう形で進めていこうというような形を、まず、整理をさせていただいて、そのうえでこの取り組みを進めさせていただきたい。というようなところから、計画の検討に時間を要するということでご理解いただければなという風に考えているところです。</p>
委員	<p>今の中で、令和7年度に2年遅れになるということですが、中学校改築検討懇談会がございますが、これは独立して中学校を改築するという、神明もそうですよね。それはもう出てますよね。そうしますと、中学校改定の分だけ令和5年度から進めて、できるだけ子供たちにいい環境で学習させたいなという願いがあります。地域のものとしては、</p> <p>なので、その前倒しみたいな形でできないでしょうか。</p>
施設マネジメント担当課長	<p>地域の皆様としては、今おっしゃっていただいたように、子供たちによりよい環境で早く学びをスタートさせていきたいという思いがあることはわたくしたちも受け止めさせていただいております。</p> <p>そういった中で、当初の予定では今年度から図書館と学校の複合化を視野に設計に入るところであったんですけども、それが必ずしもそのパターンではないだろうと、もう少しほかの組み合わせ、あるいは</p>

	<p>は単独も含めてもう一度考え直していく。その考え直していく時間が、令和6年度にまずさせていただいて、その中で学校は単独で行くのか、あるいはパターン②で示しているような集会施設との複合化でいくのか、そういったところをまず整理をさせていただいて、その上で令和7年度にいわゆるこのような形になるのか、構成メンバーについては先ほど部長からもありましたけれども、学校単独になればもちろん学校関係者の皆様だけになると思いますし、集会施設との複合化という形になれば集会施設の方も加わった形の懇談会をスタートさせていただきたいということで、どうしてもお時間をいただいってしまうというところがあって大変心苦しいところではあるのですが、私共としても、いたずらに何か伸ばすということではなくて、そういった意味ではしっかり検討期間を決めながら皆様のご意見をいただいたうえで、区としても判断していきたいなと考えているところです。</p>
進行役	<p>よろしいですか。それではどうぞ。</p>
委員	<p>今、別の委員が言われていた質問も私も実は同じように感じているんです。実際に、区民の声を聴いて、②・③のようなものを出していただけて、検討しなおすという姿勢をとっていただいたことは、私はそれは評価すべきことだなという風に思っています。ですけれども、決定するところは結局区の教育委員会の整備課がきめるんですか。</p> <p>みんなの意見を聞きました。けれども、中学校は単独では致しません、どこかの集会所と複合します。とか、あるいは、図書館とはできないけれども、とかそういう決定権はどこにあるのか。</p> <p>私たちが意見を言えばなしのところもあるし、聞いていただけて、そこに内容が反映されることは嬉しいことではあるんですけども、その辺が明らかではないし、中学校の立場から考えると、やはり、独自で作る。あるいは、集会所と一緒にだといっても、ここは集会所たくさんありませんから、今挙げておられる一つは、さざんかですか。さざんかではなく、大宮前保育園にあるゆうゆう館ですか。それくらいですよ。そうなる、単独か、ゆうゆう館と一緒にだということ考えたら、そういう懇談会、あるいは中学校の方の、広域で保育園を全部考えるというのは、地域としては区が広域のことも皆さん意見を聞きますよということは素晴らしいけれども、この懇談会を6回やってきた結果として、まずは図書館と複合化は無理だろうという結論は出たうえで、できれば単独で、あるいは集会所の一部というのはあり得るけど。というようなところまで話が希望としては出てきていると思うんですよ。</p>

	<p>採決とって何対何とするところではないので、懇談会だということは理解していますけれども、ちょっと中学校に関しては出来るだけ、早く単独で懇談会を開いていただいた方が話としては早いな。と私も同じ考えで思います。</p> <p>で、質問としては、まず決定権はどこにあるのか。それで、その私たちの意見がどこまで反映されるのかというところは質問です。そして、今、校長先生が司会者、進行役をされていますけれども、こういう懇談会は行政の方がやっぱり進行することではないでしょうか。校長先生がもし司会をされるとすれば、まったく中学校の建築のことを単独でやる場合はそうかもしれませんけれども、広域で検討する時に、中学校の方でそれを司会するということ自体私はちょっとおかしいなと思っていますから、行政の役割も含めて少ししっかり考えていただきたいなと思います。</p>
<p>施設マネジメント担当課長</p>	<p>私の方からお答えさせていただきます。いろいろご意見いただきましてありがとうございます。ご質問の内容としては、まず一つは、決定権はどこになるのかということかと思えます。</p> <p>令和6年度に、本日お示しさせていただきました、仮称ということで宮前エリアの懇談会というようなところなんですけれども、最終的にじゃあどのパターンでいくのかということを決めるのは、やはり区の方で決定することになると考えております。</p> <p>その懇談会の位置づけ自体も含めて、今内部で議論しているところですので、その役割をどこまで持たせるのかというところは引き続き議論していきたいと思っていますんですけれども、基本的な考え方としては、皆様のご意見を懇談会の場でしっかり踏まえさせていただいて、例えばどのパターンの意見が一番多いのかというのは一番わかりやすいものかと思うんですけれども、それを踏まえたうえで最終的には区として決定をしていく。その決定をしていくときにはいわゆる計画というものにしっかり位置付けていくことが必要だと思っています。その計画については、他の計画も含めてなんですけれども、区民の皆様のご意見を出していただく手続き、通称パブリックコメントという形で言ってるんですけれども、まず、計画の案というものをい出していただいて、それに対してご意見いただいて、それを踏まえて直すべきものがあれば直す、そのまま、例えば一部修正するですとか、そういう手続きを経て、最終的に決定をしていくという形になりますので、今我々がイメージしている中では、例えば、令和6年度の仮称宮前地域懇談会の中でどのパター</p>

	<p>ンがいいのか、もしくはここに出ていない新しい案がもしかしたら出てくるかもしれませんが、その中で皆様の中で議論して、ある意味集約というか整理していただく。それで仮にパターン②がいいねという形になるのであれば、区として計画にまず案として位置づけさせていただいて、それを広く全区民の方にご意見をいただくパブリックコメントという手続きをさせていただいて、そのうえで、最終的に決定をしていくという手続きをとることが一つ想定されるかなというところでございます。</p> <p>もう一つ、進行方法についてのご意見をいただきました。そのあたりについても今まさに議論をしているところでございまして、やはり、別の委員からもご指摘あったとおり、今までは学校の改築懇談会というような形で校長先生にお願いしていたところはあるんですけども、今回は学校は最大の登場人物ではあるんですけども、もう少し見方を、視点を広げてという形になりますので、そういったときにどのような形で運営していくのがいいのか。</p> <p>例えば、この懇談会にも、学識の方入っていただけてますけども、そういった先生方に加わっていただくですとか、あるいは懇談会を運営する専門家のような方にもご参画いただいた方がいいんじゃないかですとか。あるいは施設の利用者の皆様のご意見だけではなく、例えばこのエリアに住んでいる方を少し無作為抽出のような形で参画をしていただくですとか、そもそもどういうメンバーでどういう運営をしていくのがいいのかというのはまさに議論しているところでございますので、本日いただいた意見については参考にさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。</p>
進行役	よろしいですか。他にございますか。
委員	<p>丁寧な説明ありがとうございました。一つ質問なんですけれども、例えば、今回図書館と中学校の複合化というのは一応見直しという形になったわけなんですけれども、巡り巡って結局は図書館と中学校が複合化することになりましたということもありうるのでしょうか。ということを知りたいなということと、今話し合いの中で物理的にやっぱりどうしても難しいだろう。それはないだろうという話で進んできたので、ここから宮前の地区の再編ということで俯瞰で見られると、個々の施設の細かいことは、なおざりになりがちになってくると思うんですね。でも、区の方で決定をしてこことここを複合化することになりました。じゃあ当事者で話をしましょうということになると、そこで改めて、例えばうちは</p>

	<p>こうでこうだと同じようなことになると思うので、当事者同士の話し合いというのを区で決定した後に、決められるとまた同じようなことが繰り返しになると思うので、再編を地域全体で考えることは非常に大切なことなんですけれども、今回の中学校で話を聞けば、やっぱり単に少子化だけでなく、必要な部屋数のことですか、当事者、この使っている人だからこそわかることというのがあるので、そこを聞かずして複合化、複合化は非常にキーワードなんだけれども、それを決定してしまっていくのは非常に危険かなっていう気がするのですけれども、そのあたりはどのように進めるご計画でいらっしゃるのかちょっと聞きたいと思います。</p>
学校整備担当部長	<p>今のご質問は、今後の地域の方のご参加というかその辺の広くしたときの進め方ということですか。</p>
委員	<p>そうですね。再編という形で考えた時に、じゃあ今、ここ非常にキーワードだっていうのは複合化だと思うんですね。こことここをじゃあ区の方と一緒に考えていくことにしました。じゃあ当事者同士で話し合いましょうって話で、ほぼありきで進んでいってしまうのか。例えばこういう案として複合化を考えているんだけれども、じゃあここで当事者同士で集まって話をしている、これがありうるかどうかとして進んでいくのか。そこが大事だになっていう風に思うのと、それから中学校と図書館の複合化が巡り巡ってまだ可能性としてあるのかということもちょっと聞きたいなと思って質問しました。</p>
学校整備担当部長	<p>まず、進め方としては今お話しいただいたうちの后者ですね。皆さんのまずご意見をいただいて、どういったご意見が多いとか、数だけで決める訳ではないので、どういったところに皆さんが納得できるような合理性があるのかという形です。最初にお話しいただいた、今回最初に集まっていた時のような、区から今日の資料で言えばパターン①という形でご提案申し上げてお話しを進めてきた訳ですけれども、それがいろいろなご意見があって、我々も他の案を出した。けれども、今度の進め方は②と③だけで、とかこのパターンで、と新たに用意するというのではないです。ただ、一つ共通でお考えいただきたいのは、やはり、区の施設とか土地とかは限りがあるので、複合化というのは一つ視野に入れる必要はあるだろうというところです。</p>
施設マネジメント担当課長	<p>少し補足をさせていただきます。進め方自体については今部長から申し上げました后者ということで、何かパターンありきということではないです。例えばじゃあ複合化ありきとか、そういうことでもないという</p>

	<p>ようにご理解いただければと思います。どのような施設の改築や改修が地域にとって一番望ましいパターンというのはどれなのか、というような視点で、ある意味ゼロベースで議論をしていくという風にとらえていただければという風に思います。</p>
委員	<p>その中の可能性としては、巡り巡って図書館と中学校が複合化することになってくる可能性も無きにしも非ずということでしょうか。</p>
学校整備担当部長	<p>可能性としてはゼロではないと思っています。ただ、少なくともここにお集まりの同じメンバーでやれば、同じ結論になると思いますけども、今度はもう少し広く捉えると別のご意見をお持ちの方が出てくるので、そうしたご意見を聞いて、また皆様でご議論いただくということです。もちろん、これでいえば①というのは元に戻るのが前提でもなんでも無いですけども、全くのゼロパーセントという風に言われれば、そうではないかなと。</p>
委員	<p>ありがとうございました。ここで皆さんやはり時間を費やしてきて話し合ってきたことというのを、ゼロベースとなったのは一つの結果だと思うんで、そのことを皆様から今まで出た意見を踏まえていただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。</p>
学校整備担当部長	<p>そうですね。まさに、今お話ししたように、皆様から戴いたご意見がありますので、可能性はゼロではないといいましたけれども、我々もパターンが3つあるんだったら、それは1/3ずつかといえそうではないだろうと思っています。</p>
進行役	<p>よろしいですか。</p>
委員	<p>はい。ありがとうございました。</p>
進行役	<p>他いなかでしょうか。</p>
委員	<p>ゼロベースというのは、私はちょっと納得いかないんですね。やはりこの懇談会の上に積み上げて、次のステップと捉えていただきたいなと。ゼロだと言われると、今まで一生懸命考えて言ってきた意見もゼロなのかっていう風に感じますので、ゼロベースとは言っていたくないなと。この懇談会の意味をしっかりと位置づけていただきたいと希望します。</p>
施設マネジメント担当課長	<p>すいません。私の発言でしたので申し訳ございませんでした。私の申し上げたゼロベースというのが、何かこうありきということではないという意味でございまして、この懇談会で積み重ねた議論は当然ベースになってくると思っていますので、そういった意味ではゼロベースという発言は適切ではなかったと感じています。お詫びして訂正します。</p>

進行役	よろしいですか。ではお願いします。
委員	<p>お話を聞いてまして、きれいな言葉が並ぶんですけども。地域にとって一番いい形だとか。なんです、何かやっぱり子供たちが抜けている、置き去りにされているんじゃないかなと思うんですね。2年後ろ倒しに改築が遅れます。またいろいろ意見を聞きます。さらに、複合化と区の施設全ての再編を拘ってやっていかれると、それぞれ利害関係もあるでしょうから、また紛糾してさらに2年延びますとか、そういった姿が目に見えかねますよ。</p> <p>やっぱりもちろん地域の中の学校なんです、中学生たちが学ぶ、スポーツをする。その改築の懇談会ですので、そこをまずメインに考えていただいて、そのうえで、区の構造物の再編のなかで、校舎の改築に合わせて、できるであろう範囲で、集会施設などの改築も合わせて考えていくということであれば、方向性としては見えてくるんですけども、何か今の話を聞いていると同じことの繰り返しになるのかなという感じがして大変心配しているところです。</p> <p>一点ちょっとあの、ご紹介したいことがございます。</p> <p>私松庵小のPTAの会長やってまして、3月で2年間の会長職終わったんですが、毎回この会に出たら、内容を保護者に返して意見を聞いています。今回、たくさん意見や反響がありました。その中の一つをご紹介します。</p> <p>「いつもお世話になっております。松庵小学校で息子がお世話になっております、Aの父親です。さて今回の西宮中学校と宮前図書館との併設についていろいろご尽力をありがとうございます。私なりに意見を簡単に伝えてもらえたらと思います。3つの案を出していただいておりますが、私も会長と同じパターン③が良いと思います。図書館と集会室が同じ場所にあることが良いかと思います。特別支援学級ですが、さらに増やしてほしいと思います。私の娘は医療ケア児で、様々な事情で現在は病院に預けておりますが、コロナが明けたら外出や外泊などを通して、杉並区の自宅復帰を考えております。実は、元々私は杉並区に来る前は府中市にいました。しかし、娘が生まれて医療ケア児のサポートをしている杉並区か世田谷区にするか迷っていましたが、杉並区が良いと判断してこちらに引っ越してきました。ただ、医療ケア児が年々増えており、同時に発達障害といわれる児童も増えてきており、中々特別支援学級や学童保育などの対応が難しい状況もあります。また、学童保育に代わる放課後デイといわれる施設も少ない状況があります。ぜひ健常</p>

	<p>児と障がい児が同じ場所で学べる場があると先生や子供たちにとっても良い刺激になるかと考えています。ただ、難しい点もあるかと思いますが、そのような場が杉並区にあるということになれば、全国の中で杉並区がさらに福祉に理解のある場所へと発展していくと思います。どうぞよろしくをお願いします。」ということです。</p> <p>私の方から返信で、「A様、こちらこそ日頃よりPTA活動にご協力いただきありがとうございます。お子様を取り巻く環境について詳細に教えていただき不勉強な自分には大変ありがたく、感謝申し上げます。特別支援という言葉も私個人的には普通に教育支援でよいかと思ったりするのですが、4月に開催される学校運営協議会並びに5月に開催予定の西宮中・宮前図書館改築検討懇談会では改めてAさんの生の声をご紹介させていただき、教育委員会に届けたいと思います。取り急ぎお礼とご報告まで。」ということで、さらに、また返事がきまして「早速メールのご返信ありがとうございます。教育支援。とても良い言葉だと思います。健常児と障がい児の垣根がないフラットな関係なように思います。娘の兄が松庵小学校に通っているので、息子もいろいろと妹のことを考えていると思います。私の小さき声を届けていただければ幸いです。お忙しい中本当にありがとうございました。」ということで、前回私の方から、文科省の統計で発達障害だとか、お子様が増えていて、そんな中教室を増やしていただくとか、教育の充実は考えていらっしゃいますかという質問をさせていただいたんですけども、この間もですね、手を上げたらそういう教室に入れるようにしてほしいという意見も実は来てまして、その辺り、今回の改築に直接関係のない部分もあるかもしれませんが、こういう希望をもった保護者がたくさんいるんだということご理解いただけたらと思います。それを、こういう改築内容に反映させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。要望ということでよろしいですか。ありがとうございます。</p> <p>他にございますか。お願いします。</p>
委員	<p>いろいろ見直していただきご苦労様です。ありがとうございます。以前もちょっとお話したんですけども、実は、学校運営委員のメンバーと生徒会の役員と、この問題ではなくて全体でいろいろお話した中に、建て替えについて私たちの意見はどうなるのかという要望というか問い合わせがあったんですけども、その時に、以前私の方からも生徒や子</p>

	<p>供たち、これから入ってくる子供たちの意見も聞いたらどうなんだという話がそのまま終わっているようなんですけども、一応生徒代表の生徒会からもですね、そういう話が出ておりますので、これだけはこの場でしっかりお伝えしたいと思います。是非大人だけじゃなくて、お子さんの意見をしっかり聞いてあげてください。おそらくいろいろな希望があると思います。ただ、聞いたから全部できるかどうかはわからないよ。という話はしてあります。</p> <p>それともう一つですけども、仮称で宮前という言葉を使いましたよね。宮前地区って結構広いんですよ。私が宮前中学の同窓会の会長やっていますので、宮前地区というと全部こっちが入っちゃうのかな。ここがちょっと気になったんですけども、西宮なら西宮地域、宮前っていうとまだまだ公共施設たくさんありますよね。そこのところをちょっと整理していただいて、名称は仮称ですので将来的にはどうなるかわかりませけども、その辺をちょっと考えていただきたいと思っています。</p> <p>子供の意見ぜひよろしくお願いします。</p>
進行役	<p>これも要望として、ぜひ受け止めていただければと思います。</p> <p>では濱崎委員お願いします。</p>
委員	<p>今日はありがとうございます。いろいろ伺ってあまり急ぐことではないのかなとも思うので、いままで話し合いをしてきて、あれ。と思う部分もあるのですが、急いでやっていただくよりはいいのかなと思っています。</p> <p>一つお願いといいますか、ここに名前が載っている以上、結構問い合わせとかどうなんだろうという話が多分皆様も来ると思うんです。その中で、もう私の両手で収まらないくらいの方々が、仮設になってしまうので、もう受験をしようとするつもりは無かったけど、西宮中がどうなるかわからないからということで、するつもりがなかった方々も、真ん中の娘が4年生なので、もう塾へシフトしています。娘も凄く心を痛めていて、仲いい子たちと西宮中にいけなくなってしまった。という子たちがとても多くいます。他の学校も少なからずいると思うので、私たちもそうなんですけど、こういうのを目にしている方々。各家庭、一家庭一家庭が、振り回されているではないですけども、子供も巻き込まれている状態ですので、区としてきちんとその点を、私たちから「こうなるみたいよ。」ではなく、もうちょっと目に触れるところにご家庭に届くようにご説明いただけたらなと思います。お願いします。</p>
進行役	<p>このことはぜひ受け止めていただければと思います。</p>

<p>学校整備担当 部長</p>	<p>今すぐこの方法でということは言えないのですが、おっしゃることは確かにそうだなと思います。やっぱりお子様がいらっしゃる方、あるいはお子さんご本人も中学生に上がるタイミングだのご自身の意思でどうしようか、いろいろな考えがあると思いますので、少しお時間をください。</p>
<p>進行役</p>	<p>ありがとうございました。他にございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>宮前地域懇談会というのがございますけども、これ松庵も入りますよね。実はですね、久我山には久我山会館、宮前にもある。でも松庵には区の集会所が何もないんですね。是非集会施設を作ってほしいということは前も申し上げたんですけども、この懇談会の中に松庵地域を含めてほしいというのが一つ希望です。</p> <p>それから、実は公園を作っていた経緯でみどり公園課には感謝しておりますけれど、かなり広大なところを地主さんが売りに出されて、みどり公園課が公園を作るといときに、最初のプランニングは、役所の方のプランというのは、ただ上の木を切って散策できるコースというだけでした。でも、誰もそんなの望んでない。</p> <p>住民は本当に子どもの体力が落ちているし、広い場所で遊ばせたい。ボールなどもできる場所がない。ということで要望を出しました。区長あてにですね。両町会で話し合いました。そして何度か話すうちに、こういうのが住民は欲しいんですねと、近隣の方の意見も聞いていただきまして、今は大変広いところで子供が直線で走れる公園ができたんです。世田谷区には羽根木公園といってすごく子供が工夫して遊べる空間があるんですけど、そこまでちょっとできなかったんですけど、それと防災倉庫がなかったのでそれも要望しましたら倉庫も作っていただきまして、公園の中にかまどベンチを作っていただき、災害の時にはちょっとしたテントを張ってそこで煮炊きができるというのまで作っていただきました。だから通常の公園にある遊具はほとんどいらない。トランポリンくらいで、あとは高齢者の体力づくりのものが2、3個あるくらいで工夫して遊べる空間を作っていただいたんです。これって本当に粘り強く役所の方に両町会が力を合わせて交渉した結果できたんですね。だから今ではすごく住民の方も多く利用していますし、感謝しておりますので、ぜひそういう意味で地域にとって本当に必要なもの、必要な施設という視点で考えていただきたい。</p> <p>それから先ほど学校の方がなぜ司会をなさるかには私も疑問に思っていました。つまり現場の声を出せないじゃないですか。司会をしていたら。</p>

	<p>それが一番大事なのに、なぜ司会というところでしてしまうのは最初から疑問に感じていましたので、次回こういう会を持つときには、そういうご配慮をしていただけるとありがたいなと思います。</p>
進行役	<p>要望が出ましたが、松庵のことは今お答えになられますか。</p>
施設マネジメント担当課長	<p>どのエリアの懇談会にするかというのは、まさにこれからの議論だと思っています。区内でいろいろな箇所で立ち上げていく形になると思っています。その時に、やはりここのエリアについてはまず西宮中学校をどうしていくかというところを、結論をしっかりと出していかなくてはならないと。</p> <p>その周辺施設をどこまで対象にするのか、今おっしゃっていただいたような松庵には松庵の課題というのがあるかと思います。それを検討する時には、このエリアでやったほうがいいんじゃないかというところはあるかと思っていますので、本日の意見を踏まえさせていただいて検討させていただければと思います。</p>
委員	<p>はい。お願いします。</p>
進行役	<p>どうぞよろしくお願いします。</p>
委員	<p>本日はありがとうございます。ちょっと質問なんですけれども、大宮前保育園の敷地の、この代替地というのは例えば、先ほど松庵小の近くの大地主さんが土地を売ったとかそういうことが出てきたときには、ここに入らず、単独で動いて、例えば仮設とか、なるべくこれを減らしていけば問題もすっきりすると思うので、そういう対応とかも例えばこの長い間にそこを話し合うのではなく、もうちょっと素早く動いていただけると、もうちょっと問題が早く解決できるのかなと。あと、ちょっと全然違うかもしれませんが、西荻の高架下の松庵の近く空いているじゃないですか。あそこは保育園はダメなんですよね。例えばあそこは保育園とかそういう民間の施設があるので、あそこのエリアに仮設の保育園とか。勝手に言っているだけなのであれなんです、もうちょっと保育園の問題が絡んでこなければ、もうちょっとすっきりするのかなと思うので、広い目線で検討していただければ。</p> <p>あと、一回終了するというところでニュースとかを出すご予定はあるのか。こういう風になりましたというものが出ると、もうちょっと保護者の方とかにも住民の方にもわかりやすいのかなと感じています。よろしくお願いします。</p>
進行役	<p>要望と質問が出ましたが。</p>
施設マネジメント	<p>私から保育園についてお答えさせていただきます。今おっしゃって</p>

<p>ント担当課長</p>	<p>ただいたように、保育園の問題はこの間も議論というかお話しさせていただいた中で、どうしても仮設園舎を建てる用地が必要になってくると。それが区の用地があればもちろん一番いいところではあるんですけども、それがない場合については、今おっしゃっていただいたような、例えば今売りに出ているものがあつたらですとか。そういったものを考えていかなければならないと区としても考えているところです。そこはいつ出るかわからない、どのタイミングで出るかわからないというところがあるので、そういった準備はしっかりしていかなければならないと思っていますし、この懇談会を進めている中でも他の用地がないのか、もう少し目線を広げて考えてきたところです。そうした意味では、近ければ近いに越したことはないんですけども、とはいえ、少し離れてしまったとしても、そうした用地があるのであればそこは活用していく必要があるのではないかと。そういったところは既に保育部門とも協議をさせていただいておりますので、もう少し視点を広げた形で検討していきたいと考えております。</p>
<p>学校整備課長</p>	<p>質問がありました改築ニュースに関しましてですけれども、こちらのニュースに関しましては、速やかにできるだけ早い時期に発行しまして、今回発生しましたスケジュールの変更、特に児童の進学先の選択に関して、影響が大きくございますので広く周知をしております。町会にお知らせするとともに、学校の保護者の皆様にお届けするような形で発行を予定しております。</p>
<p>進行役</p>	<p>よろしいですか。他にございますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどの意見。私もつねづね、この懇談会の委員になったので、保育園の仮設用地って工事の車両とか入れたりする関係で一体どれくらいの大さの土地があればそこが仮設園舎になるのかなって常に地域を見て過ごしております。</p> <p>最初、区の方の考えでは、宮前図書館の敷地があれば仮園舎が建てられるという考えでこの計画が浮上したんだなっていうのが一ついろんな効果があると思うけども、それが一つ大きくあつたと前の部長さんも正直に言ってくださいました。</p> <p>例えばどのくらい、何㎡くらい敷地があれば保育園の仮園舎が建てられるんですか。私は何も土地とか用意できませんけども、このエリアどこまで広げるかっていうこともあるけども、質問です。</p>
<p>施設マネジメント担当課長</p>	<p>お答えさせていただきます。園庭をどこまでとるかという話もあるんですけども、今保育部門と話している中では、定員を現在と同じとした</p>

	<p>場合に大体 800 m²～1,000 m²位の建物が建てる用地が必要かなと言われて います。そうしますと、このあたり一帯というのが第一種低層住居専 用地域ということで、建物の制限が結構あってですね、端的に言う と1,000 m²近くの用地が必要になるのではないかなと考えているところ です。それが必ずマストかというところというわけではないかもし れないのですが、今話している中では、それくらいの大きさが一つポイント になるのかなというところでございます。</p>
委員	<p>園庭を入れる場合と入れない場合とで教えてもらえますか。</p>
施設マネジメント担当課長	<p>これは本来、保育環境ですので、仮設であったとしても、園庭がある ことが望ましいというところではあるんですけども、一時的な期間であ れば、例えば、近隣に園庭の代替となる公園があるような場合などにつ いては、園舎と同じ用地の中に園庭がないケースは過去にあたりする ので、そうした時には少し狭めの用地でも大丈夫かもしれないんですけ ども、それでも 800 m²位の敷地は必要なのかなと考えております。</p>
委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
進行役	<p>よろしいですか。それではよろしくお願いします。</p>
委員	<p>私を感じることは、例えばパターン②に即してお話しさせてい ただきたいと思うんですけども、西宮中学校と集会施設となったとき に、従来の進め方が、宮前図書館と、ということだったと思うんですけ ども、大前提で複合施設にするということありきで今まで進められてこ られたと思うんですけども、まず、このパターン②でいうと集会施設で、 片や地下に掘ると予算がって、二言目には予算の話がされると思うん ですけども、今中学生はフルで、ただでさえこの狭い中学校の部活動でフ ルで、夕方使ってますし、そのあとは利団協で杉並区優先で夜開放して いる状況で、マックス状態な上で、地下を掘らないでここを集合施設も プラスするとか、どこかを減らしてやるというのはまず不可能なんです ね。一つ一つの前回の進め方もなんですけど、ありきで示してから、じ ゃあそうじゃないんです、という反対意見も極力こちらもなるべくした くないってこちらも皆さんも思ってるんですけども、玉突きで、じゃあ ここはどうなるのかということも、きちんと現場の調査をしていただい たうえでこれを複合することによって、じゃあこちらはどうかとか、 じゃあ宮前図書館の前で使っている、利用している団体はどうなる のかと先にそこまできちっと調査をしていただいたうえでそういった 方向性を示していただきたいなというふうに思います。</p> <p>ここで聞いて、限られた範囲でのお答えもなかなか納得しないことも</p>

	<p>多かったので、その点は今後ぜひお願いしたいなという風に思います。</p> <p>西宮中とどこかが合併することはゼロではないような、曖昧なお話をされてますけども、まず予算だったりとか、いろんな意味で一年間を要するということだったんですけども、縮小するとか、どこかを一緒にするという色んな専門の方とかが来ていただいて、将来的な数値も全部お話は伺ったんですけども、予算ありきでの方向性がでてくると思うんですけども、ある意味、地元のきちっと声を調査していただいた上で発展的な意味の予算を取っていただくこともあると思うんですね。だからこの中で5年度の中で知らないところで予算がこれなんです。って決まってこの予算しかないの、これですというようにしか今までも聞こえなかったの、まずこの方向でどうでしょうかという皆様の理解を賜りつつ、一つのものにしていくと思うんですけども、まずもうちょっと明確化していただきたいなというのがすごく思いまして、この前教育施設計画推進担当係長経由でぜひ区長と私たちPTAだったり、女性が、初の女性区長なので懇談的に話ししたいといったら、教育施設計画推進担当係長からお電話がありまして、クレームではないんですけども西宮改築の件でということで、秘書から連絡があったというお電話をいただいたんですね。いろんな意味でまとまらないので、ここではないしかるべきところに発展的に前向きの意味でお話しできたらな、知ってもらいたいというのが常々思っておりまして、もう一つには予算だったり別の意味であれば、政策経営部の企画課というところで、そこが別の意味で話を聞いてもらえるということも伺いましたのであらゆる角度でいろいろな意味で皆様にとって一番ベストな方法でできるようにということで進めていきたいなという風に思いましたという話です。よろしくお願いいたします。</p>
進行役	<p>今の話もぜひ受け止めていただければと思います。他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>いろいろな方の意見を聞くというのはとても大事で、それは民主主義のもとになることなんですけど、みんなの意見を聞こうと思えば思うほど、時間がかかるっていうのはありますよね。それは分かったうえで申し上げますが、もっと単純に考えていいのかなと私は思います。</p> <p>例えば中学校の改築については、やっぱり今後の教育のありかた、それから子供を中心にした施設。子供をどういう風に教育するのが必要かという視点での中学校の改築というのを考えればいいんだと思います。</p> <p>それから、図書館については今、全区民が、いろいろな世代が利用し</p>

	<p>ていて、大変この地域にあってはあれだけの大きさの図書館は感謝していますし、町会としても防災の集合場所に使ったりしていますから、あの規模の図書館を是非残していただきたいし、今までの活動をあの中で継続できるような改築を考えていただきたいと思います。</p> <p>それから保育園に関しては、この図書館や中学校のことと一緒に考えるのではなく、先ほど若いPTAの方がおっしゃっていましたが、保育園の仮園舎をどこに作るかということ、それを探すことをメインに考えていけば、複合化というところは例えば、子供たち中心に考えた中でこれを足せます。あるいは図書館も今の活動ができた中で、プラスこれが足せますというかということ、それぞれの中で考えれば解決するのかなど。確かに広域で政策を考えるっていうのは大事ですし、それが区の仕事でもあると思うんですね。そのレベルで意見を聞くことと、個々の建物を改築するというを両方一緒に考えると、本当にまとまりがつかなくなっていくと思います。</p>
進行役	<p>今のお話も是非視野に入れていただいて今後進めていただければと思います。</p>
委員	<p>大分意見がでて、私から事務局の方に確認をしたいと思うのですが、今、広域という話がちょっと出ているんですが、広域の範囲がやや曖昧なのかなという風に思ってます、現在どうしても最初に中学校と図書館を合築するという話から区が決定して、それが図書館の関係の方と学校の関係の方、地域の関係の方が集まっていますけども、更に集会施設というのが加わってきて、保育園の建て替えていう問題が入ってくるので、恐らく新しい拡大懇親会にはそういった方々のご意見を聞いてっていうイメージも若干あるんですが、今のお話だと、より広範な施設を対象として、その関係者の方々も集めて新たな懇談会をというようなことをお考えでしたっけ。ちょっとその確認をしたいなと思ったんですが。</p>
施設マネジメント担当課長	<p>基本的には先生がおっしゃる通りで、少し広範にするということを考えています。エリアの目安としては、やはり、本日お配りしたカラー刷りの資料の中で、最終ページ4ページありますけれども、その左上のところに、西宮中学校、図書館、さざんかステップアップ教室、保育園、保育園併設のゆうゆう館、このあたりがやはり中心になるのではないかと考えています。</p>
委員	<p>ということは、ここに載っているもの以外の施設は対象にならないということですか。</p>

施設マネジメント担当課長	どこまで広げるかは難しい議論ではあるんですが、現時点では。
委員	<p>わかりました。恐らく保育園の関係者の方々が入ると、保育園を何とかしろって話になりますし、恐らく皆さんご心配しているように、もう一回ゼロベースでということになると、もう一回議論しても、いろいろな意見が出て恐らくまとまりにくくなるのではないかと確かに心配しています。それからもう一つ気になっているのが、今後の進め方のスケジュールで、中学校の改築検討懇談会が令和7年度からということで、基本設計と実施設計と一緒にありますけども、恐らく学校の改築になりますと、基本の計画というのが、設計の前段階できちっと決めとかなきゃいけないんですが、恐らくその段階で中学校の改築検討懇談会をスタートさせないと、設計と並行してやると、設計というのはある程度決まったことを図面にしていきますので、やるとすると、このスケジュールでいくとすると令和6年度には中学校の改築検討懇談会をやらないといけないのかなと思うのと、基本計画というのが最低半年くらい必要になってくると思うので、それと改築検討懇談会を並行させていくとなりますと令和6年の後半くらいからはスタートしないといけないのかなと。このスケジュールでいきますと、令和7年に検討計画になると、基本計画と実施設計は、1年間は最低かかりますので、あと工事2年とすると、下手すると令和11年度開校ということになっちゃいますので、この辺スケジュール感を精査した方がよいのかなという風に思います。</p> <p>それから後、保育園の建て替えは非常に大きな問題で、もともと先ほどご意見あったように、この計画の大きなきっかけにはなっているんですが、この建て替えの問題と複合化とか中学校のあり方を同時に議論していると、まとまるものもまとまらないと思いますので、場合によってはパターン①がもうないとする、保育園の建て替えの問題はいったん別に考えていただいて、先ほどいろいろ案が出ていますが、民間を利用するとか、場合によっては現地の建て替えが本当にできないのかということがあるかもしれませんし、もしかすると中学校の建て替えに合わせて中学校を段階的に立て替えて、そこに一時的に園舎が入るとということも無きにしも非ずだと思いますが、いろいろなパターンがあるかと思うので、ちょっと保育園の問題を同時に考えていくというのはやはり難しい部分があるのかなと個人的に思います。ちょっと意見と少し確認ということで。</p>

<p>学校整備担当 部長</p>	<p>スケジュールのご質問最初にいただいたので、これちょっと年度で分けているので、きっちり線を引いてあるような感じなんですけど、これはもちろん、例えば7年度の下にある改築検討懇談会。こういったものは早めに始められれば早めに始めてといった形で考えています。</p> <p>それから、大変申し訳ありませんが、冒頭申し上げたとおり、この後別の会議がございまして、途中で申し訳ありません。失礼いたします。</p>
<p>委員</p>	<p>後はパターン②・パターン③。この懇談会をゼロベースではなくて、継続って意味から考えると、恐らくパターン②・パターン③が大きく考えられると思うんですが、集会施設をどうするかっていうのは難しい問題かと思えます。もしかするとあくまでも中学校を建て替えるという中で、中学校の集会機能をちょっと充実させて、それを地域に開放できるかどうかを検討するっていうのも一つありなのかなと思います。</p> <p>最近私が関わっている、ちょうど午前中にさいたまの方の大宮国際中等学校ってところに行ったんですけども、かなり立派なホールとか多目的スペースが非常に有効に学校が活用してまして、それを地域の方にも利用していただいているということで、当然制約はありますけども、かなりハイスペックなものを、学校が優先なんですけど、やっているということもありますので、場合によってはあくまでも中学校を建て替えると。その中に立派な集会機能を持ちつつ、それをどういう風に地域で活用するかというのを検討するというような検討もありうるのかなとちょっと思えます。これはあくまでも私の私見です。</p>
<p>進行役</p>	<p>ありがとうございました。要望としてご検討いただけるということでよろしいですね。</p>
<p>委員</p>	<p>いろいろありがとうございました。学識経験者の先生がおっしゃっていたように、私もこの宮前地域懇談会というものをどこまでの施設を考えているかということを確認したかったのと、やはりあの、そうなった場合にそれぞれの施設から委員となる人を選択していくことになると思うのですが、何人規模の懇談会を開催する予定でいらっしゃるのか。</p> <p>また、今回図書館と西宮中学校の複合化ということで話が始まりましたが、この中で一緒にすることは難しいのではないかと委員のほぼ皆さんの一致があってそういった考えで区の方にも考えていただいているということもありますので、今回のメンバーがごっそり変わってしまうと、また話も同じことの繰り返しということになりかねませんので、できることであれば現委員が希望すれば残れるような形、継続して話を進</p>

	<p>めていくのであれば検討していただきたいと思います。</p> <p>ただ、複合化が難しいという話の中で、やはり西宮中学校の敷地がそれほど広くない。子供たちも本当に皆様がおっしゃっていたように放課後は部活動がどこも活発に行われておりますし、日中もフルに教室を使っております。合唱祭があるときも、みんなで歌うスペースが限られているので、多目的スペースも使うのですが、教室のドアを外して広いスペースをとって、それぞれが歌う場所をとって学校生活を送っていたりすることもあります。今回の話し合いの中で、これ以上のスペースを取るのなかなか難しいという話もありましたけれども、やはり子供たちを一番大事に、今あるものは必ず残していただきたいというのが希望としてあります。</p> <p>一番最初にお話ししたように、どれくらいの人数の規模を考えているのかということを確認したいです。</p>
施設マネジメント担当課長	<p>私の方から、委員の規模については今検討している最中でございますが、現時点で明確に何名というはっきりとしたことは申し上げられないんですけども、委員の方からあったように、この懇談会の継続性というものもしっかりと考えていかなければいけないという風に思っております。そうした意味で、すべての皆様にそのまま残っていただくのが良いのか、あるいは少し代表者というような形がいいのか、その辺りは少し検討させていただきながら、場合によっては皆さまからご意見いただいて考えてまいりたいなと思っておりますので、現時点では何名ということは確定していないということで申し訳ありませんがご理解いただければと思います。</p>
進行役	<p>その他については是非受け止めていただければと思います。</p> <p>そろそろ時間が迫ってきておりますが、他にありますでしょうか。</p>
委員	<p>本日はありがとうございます。第7回、回数を重ねてみると数多い開催でした。年数も時間もかかったかなと思うんですけども、第一回目が複合化した中学校施設ということのタイトルから入ったものですから、それぞれの複合化っていう部分に関わる図書館だったり中学校だったり仰天してしまったという状況です。</p> <p>それが会を立ち上げることによっていろいろな問題点が見えてきたかと思うんです。今回いろいろまとめていただいたときに、先ほど複合化パターン、これすごくメリットデメリット、特にメリットはこれからの世の中ではとても多いことかと思えます。この地域にとって望ましいパターンということでの複合化を考えることも当然必要なことかと思</p>

	<p>うんですけれども、例えば私の場合は西宮中学校として、立場が支援本部で日々中学生を見ているものですから、その子たちにとっていい施設ということを中心に考えていたわけです。なので多分この話っていうのは、最初に出たのはいくつかの大きな課題を混ぜた形で提案していただいたために話がとても複雑化してきたことも事実と思う中で、今後当然進めていく中で、先ほど小学校のほうからあと何年、中学校としてもこれから新入生がどの人数入って、何クラスできて、どうやって運営していく短い3年間、高校受験も踏まえたうえでの教育を考えていくっていうのは、とてもとても厳しいところで、あと支援本部では、当然、中学校っていつ改築、ここに来て3年間ずっと仮校舎でいやだ。という声も当然聞こえてくるわけです。そうなったときに、いろいろ、右往左往させられるのはここに住んでいる小学生、中学生を持つ保護者が多く、そこにかかわる本人たちや子供たち、と思ったときに、やっぱりある程度どのくらいの期間っていうのを、決定ではなくてもお知らせ、それが決定しないと区はお知らせしにくいことはあるかと思うんですが、やはりその辺りも多少地域にとっては、目指すところを示していただければ、子供を持つ親としてはじゃあそれくらいだったら上の子は違うけど下の子はひょっとしたら改築中の3年間を過ごさなきゃいけないとか、今度は各家庭での教育方針を考える指針にもなるかと思うんです。ですから、この地域にとって本当に複合化のパターンというのがいろいろな意味で充実しやすい資質をもっている地域ですので、ありがたく複合化ということになると思うんですけれども、それと例えば私は西宮中学校に所属しています。そうなったら中学校の教育施設の充実を考えて、ある意味違う視点でモノを考えていきたいものですから、これから考えるときに地域懇談会という部分ではひょっとしたら複合化に関してのプロの方たちが入ることによって全国のいろいろな状況、いろいろなところで複合化されていますから、そういうメリットデメリットを示していただきながら、現場でのこの地域での状況を合わせた色分け、住み分けをある程度わかりやすく私たちにも示していただければ話を進めやすいのではないかと思います。これは要望なんですけれども、どうかよろしくお願いたします。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。ここで一旦先に進めさせていただきます。それでは資料2について説明をお願いします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>資料2の懇談会のまとめ(案)ということで、1ページ目2ページ目はこれまでの議論の開催経過等でございますので省略させていただきます</p>

まして3ページ目をご覧ください。

懇談会の主な意見としまして、3つのカテゴリで整理をさせていただきます。まず3ページ目の一番上のところで、中学校と図書館の複合化についてということで、これは先ほどからお話しありますけれども、当初この組み合わせでの複合化についてどのような効果があるのか。また、事例もご覧いただいて、それから校舎の配置のスタディもして、どれくらいの校庭面積になるのか等々検討してきたところでございます。検討会での主な意見を、中段のあたりですね。まとめさせていただいておりますので、読み上げさせていただきたいと思っております。

まず1ポツ目で、中学校のグラウンドは現在約4,400㎡ですが、現在でも運動会や部活等では狭さを感じており、改築に当たっては、150mトラックが余裕をもって取れ、現在と同規模またはそれ以上の校庭規模を確保してほしい。

2点目として、学校と図書館の複合化が無理なくできれば理想的であるけれども、高井戸中学校と比べても本地は約3,000㎡敷地が狭く、将来の学校運営に不安がある。

3点目として、学校と図書館の複合化にメリットがあるということは理解するけれども、今後、DX化等で施設から離れていても連携できることも多い。また、学校と図書館では共用可能なスペースが限られてしまうなど、複合化の効果には限定的な側面もあるのではないかと。

4ポツ目、事例見学ではセキュリティの確保や施設相互の音の影響など、利用者の理解や設計による工夫もあってあまり問題になっていないということや、司書同士の連携で運営を工夫するなど、複合化の効果を発揮していることが分かった。

最後です。杉並区では学校司書を全校に配置して教員への授業支援など、学校図書館の運営機能の充実を図っており、さらに西宮中学校では学校図書館を積極的に授業で活用している。仮に図書館と複合化する場合でも、独立した学校図書館の機能を確保してほしい。ということでまとめさせていただいております。

それから3ページ目の下段の方ですね。2点目として中学校の改築規模や諸室についてでございます。こちらについては新校舎の開校を令和10年度以降と想定した時に、最大の学級数を10学級と考えて、その場合に杉並区立学校施設整備計画というところで標準規模を設けておりますので、右側の表ですね。校舎と諸室の面積で改築規模については7,327㎡程度となるということをご説明したうえでご意見を伺ったと

ころです。

懇談会での主な意見としましては、まず1ポツ目ですけれども、学区内の児童数の推移や子育て世代の転入状況、宅地開発の動向等を考慮するとともに、将来人口推計が上振れする可能性や、新校舎による増効果、あるいは35人学級、30人学級の可能性なども想定して改築規模を設定してほしい。

2ポツ目ですけれども、今後は、学年単位で活動できるスペースや、各教科や特別支援など少人数の活動スペースがより必要性が高くなってくるのではないかというご意見だったかと思っています。

おめくりいただいて4ページ目、最後ですね、第5回・第6回目あたりだと思えますけれども、宮前地域における施設再編の主な課題と複合化のあり方についてということで、パターン①・②・③ということで比較表などをお示したところです。

資料の方に1点修正がございまして、パターン③のところの一番最後、表の一番最後のところで保育園の仮設用地確保が課題となっておりますが、この点はパターン②の方も同じでございすけれども、パターン②のほうから落ちてしまっておりますので、その辺りは修正したいと思っております。

懇談会の主な意見のところを読み上げさせていただきます。

まず、1ポツ目、今後集中的に区立施設が改築時期を迎える中で、施設の複合化・効率化の必要性自体は理解いただいたという風に思っております。

それから、学校のことを考えれば、少しでも校庭が広がるパターン③が望ましいのではないかと。

3ポツ目これからの図書館は人との対話や交流を通じて、出会いや活動の場としても期待されるため、その点では区民利用施設同士の複合化となるパターン③が望ましいのではないかと。

4ポツ目です。いまの中学校は地域に支えられているため、その点でパターン②は地域人材との連携・交流がしやすい面があるのではないかと。

5ポツ目、宮前図書館は利用者が多く、多様な催し物など、地域に根差した運営がされている。たとえ休館期間が生じたり、あるいは集会施設との複合化で面積的な制限があったとしても、現在地での運営が続けられるとよいのではないかと。

その下、保育園の改築の問題も利用者にとっては切実な問題であり、

	<p>その点ではパターン①というところもあるけれども、図書館跡地を活用する以外に保育園改築の方策がないのか、さらなる検討が必要ではないかという意見。下から二番目、区が懇談会での意見を踏まえて計画原案以外のパターンを示したことは評価できるのではないか。</p> <p>最後ですけれども、図書館跡地の利活用を含めて、周辺の区立施設を含めた、宮前地域に視野を広げた検討が必要ではないかということでまとめさせていただきました。</p> <p>こちらの方は懇談会で、先ほど今後に継続性を持たせるためにもしっかり主な意見ですね。まとめておきたいと考えてございますので、事務局の方でまとめさせていただいたものを報告させていただきまして、今日ご意見いただければと思います。資料の説明は以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。それでは、今のまとめ案について何かご意見ご質問などがございましたら挙手をお願いします。</p> <p>今日の今日でなかなか難しいと思うのですが、ぱっと見ていただいて、これは、この記述は、というのがありましたらよろしく願います。</p>
委員	<p>パターン②の集会施設というのと、パターン③も集会施設というのと、この間からコミュニティふらっとのものを一つのケースとして、床面積とか計算して、図面も引いてくださっていました。前回の校舎とか配置スタディを拝見すると、両方の施設が対等な形で複合化するのか、例えば図書館と集会施設なら、図書館がメインで集会施設はコミュニティふらっとまではいかなくても、お部屋を用意してますよという感じ。そういういろいろなパターンがこれ以外にもあると思うんですね。先ほど柳澤先生もちょっとおっしゃっていたように、中学校もやっぱり今後空き教室も長い長い目で80年使える校舎を建てるとおっしゃっているので、段々少子化がこの地域にも、少子化になってきて空き教室がでてくることは考えられます。</p> <p>先ほど聞いたんですけど、学校開放一般利用という形が教育委員会のほうでやっていて、これは意外と私も知らなかったし、他の委員の方に教えていただいたのですが、ある学校では、学校が使われていないときに、区役所の方に行けば部屋を借りられるような、そういう利用の仕方があるんですね。</p> <p>例えば西宮中学校もコミュニティふらっとみたいなものと複合化するってパターンに沿ってどうするかというのではなくて、西宮中学校は西宮中学校で必要な施設をすべて確保し、あと、小さい部屋も特別支援</p>

	<p>教育も充実させるような学校づくりをして、それで長い目で見て、部屋が余ってくるのであれば、学校開放一般利用を充実させていけるような、校舎のつくりを考えていくというのも、また一つのパターンではないかと思えますので、既存の今の区の施設とはちょっと離れた形も考えていけると思いました。</p>
進行役	<p>「このまとめ案がこう書いてあるけども、これに拘らずにもっとフレキシブルに考えてください」、「そういうことがまとめ案でももっとわかるといい」ということですか。</p>
委員	<p>はい。一般の人にあまり知られていない学校開放一般利用というものを、利団協とはまたちょっと違うのかな。よくわからないんですが、管轄が違うのでしょうか。いずれにせよ①・②・③以外にもあるのかなと思いました。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>ありがとうございます。これまで、パターン①・②・③以外にもパターンとしては今後の検討の中ではありうるかなという話はさせていただいているので、4ページ目の懇談会での主な意見の最後の部分ですかね。一番最後のボツのところには他のパターンもありうるんじゃないか、みたいなことを書き足すような形にさせていただければと思いますが、そんな形でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>はい。</p>
進行役	<p>よろしいですか。</p>
委員	<p>学校開放について、自分が学校開放の連合協議会全体の会長やっていますので。地域に学校を開放しようというのは40年前からやっております。学校支援課の元課長がいますけども、学校が使われていないときに、今有料なんですけども、校庭とか体育館、会議室。学校によっては音楽室とか、スポーツ団体だけではなくて、文化系のそういう地域に活動している人たちに開放しているんですね。ですから、ここで言いますと、校庭と、体育館ですね。会議室はないと思うんですけども。学校によっては会議室だとか今言った音楽室だとかを地域に開放しています。それはもう先ほど言った通り40年前からやっていますので、そういうものを含んだパターン②の場合だと、学校によっては地域交流棟みたいなものを作ってですね、普段は生徒が使って夜間は開放すると。夜間については施錠して学校の中に入らないと。そういう形の学校が、先生よくご存じかと思うんですけども、自分たちもそういうのやりましたので、結局教育施設だけじゃなくてそういうものがあると学校が使えるというのがあるので、この②のパターンが、具体的に何がという</p>

	<p>ものはこれからだと思うんですけども、学校開放というのはそういうことで、地域の方で大体今 400 何十団体かな、500 団体くらいかな。杉並区内でいろいろな形でやっています。大体そういうところですので。</p>
<p>委員</p>	<p>補足的にすいません。通常学校開放はなんとなく中学校さんの方としては負担が増えるんじゃないかというのがあります。確かに、学校が開放後の鍵とかまで管理すると、通常の仕事終わってから夜、ママさんバレーが体育館使っている間いなきゃいけないかと、そういう負担が増えるという部分がありますが、基本的には管理を学校ではなくて、放課後は社協とか別の団体に譲るとかですね。それからその、最近では PFI のような民間事業者が運営に入ってくる場合はそちらが維持管理をするので、基本的にはそちらに任せて、学校はあくまでも学校がいる時間だけ。終わったらその事業者が基本的には管理をします。この場合はただ、複合施設が多いので、学校単体になった場合にそのスキームが使えるかはわかりにくいんですが、そういうやりかたもあります。なので、どういう形で開放を進めていくかというのはいろいろなシステムがあるのかなと思います。</p> <p>私がたまたま関わった群馬県の伊勢崎では、はっきりと開放ゾーンと学校ゾーンを明確に分けておいてですね、開放ゾーンについては基本的には日中であっても空いている施設があれば使えるけども、学校の方は入れなくしておく。体育館とか集会施設とかは開放して行って、音楽室とか家庭科室とか比較的地域利用が多い部屋に関しては開放ゾーンの方に入れていますが、そちらは基本的には平日の昼間は一般の人は入れないようにしておくとかそういったセキュリティラインを明確にすることによって、複合ではなく、あくまでも学校なんですけども地域に段階的に開放しているということをやっています。この場合、宮前の場合はさっき言ったように敷地の問題とかある一方で地域のニーズが高いということであれば、そういうやりかたもありうるのかなと思います。ただ、中学校の場合、やはり部活動とかもありますので、なかなか週末とか放課後もやっぱり結局部活が利用しているので、体育館もグラウンドも開放できないよということは確かにあると思いますので、中学校の場合の開放をどういう形でやっていくのかということは少し現状を見ながら進めていかなければならないと思いますが、一方で、これからの時代、そもそも部活動をどうするっていう議論も、どうするかという話も出ているんです。</p> <p>私が関わった愛知県の半田というところでは、部活動を全部やめちゃ</p>

	<p>って、基本的には中学校の子供たち以外の子も一回学校に帰って自分の通っている学校ではなく別の中学校に向かう。そこで部活ではなく、地域スポーツクラブという形で別の指導員を雇ってグラウンドとか体育館使ってやると。そういうやりかたもあります。</p> <p>これはやや論理が飛躍しますが、少し部活動というものを見直していく可能性も無きにしも非ず。それも自治体によるかなという風には思いますので。またそういった議論し始めると、凄く、そもそものシステムの話になってきますので、また別の会議立ち上げなければならなくなるなどと思いますが、中学の先生になるべく負担が増えない形での開放を検討する必要があると思いました。</p>
委員	<p>杉並区の場合は、ご存じの方はいいんですけども、各中学校区域に利用者団体協議会というのがありまして、そこで一つの会議をやると。そこで学校側から、どこどこのところ空いてますよと。それを調整会議ということをして月に1回やっています。その中で校庭の登録団体、体育館の登録団体。そこで話し合いをしながらやると。その使用書で書いて副校長先生に渡すと。現実的にですね、学校の負担はそれほどないですよ。利団協の中で全部やると。だから各中学校区域と小学校も一部ありますけども、その中でやるので。ただ、大変だといわれているところは、今あまりないんですけども、使用の後に、校長先生が見るとタバコがあったりだとか、そういうことが今はなくなってですね、問題は大幅少なくなってきました。</p> <p>ただ、建て替えをやったところの高円寺中学校というのはちょっと組織違って、利団協とは別で、そこはそこで、運営して会社がやっていると。先ほど先生が言ったように部活動も委託でしたっけ。そういうところに委託して、先生たちは顧問だけで、実際の指導については高円寺中学校は外部指導でやっていると。先ほど言いましたようにそれからそういうシステムになる。令和7年までにやれて話がありました。すみません、蛇足で。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。鍵の管理も今学校がやっておりませんので、それは申し伝えておきます。それから夜も6時には部活動終わりますので、その後は空いていれば使える状況です。それではどうぞ。</p>
委員	<p>資料のご説明ありがとうございました。わかりやすくなったんですが、資料についてのご意見ということですので、今日のこの7回の懇談会の内容も、懇談会での主な意見に入れていただいた方がいいのかなという風に思います。</p>

	<p>今日もお話がありましたが、保育施設の問題はちょっと切り離れた方がいいんじゃないかというかなり重要な意見が複数の委員から、また先生からありましたので、それもやはり入れていただいた方がいいのかなという風に思います。というのは恐らくこの資料をベースになんらかの焼き直しをして懇談会ニュースを出されるとと思いますので、そこはそうしていただいたほうがいいのかと。</p> <p>あと1点やはり個人的に違和感があるのが、最後の想定イメージ、今後の進め方のところで、改築案決定の後に中学校改築検討懇談会があるのはどうなんですかねっていう話なんですよ。もう結論ありきみたいな感じにどうしても見えてしまうんですね。</p> <p>令和6年度この宮前地域の仮称ですけども懇談会と改築案決定の間に改築検討懇談会が入るのが筋じゃないかな、妥当なんじゃないのかなという風に思います。これちょっと検討していただいたほうがいいのかと思います。</p> <p>あと最後に1点、このニュースが出たら、また保護者はギャっという風になります。2年間後ろに倒れますので、兄弟が複数名いる保護者は他の委員の方からもありましたけれども、どうしようかしらと。進学。もうすでにいっぱい来てたんですけども、これを見たらまたどうしよう、下の子の進学先どうしよう。中学受験かなと恐ろしくなります。結局その、これによって振り回されるのが子供たちであったり親だったり地域の方なんですよ。ですから、これ違うね。直せばいいやではなくて、ちょっと丁寧に発信していただいたほうがいいのかという風に、これは本当あのずっとPTA会長として、この場の内容を保護者にお伝えして、たくさんの意見を聞きましたから、やりとりしていた者の実感としてですね、本当にこれで人生が変わっていく子供たちなんかも一杯おりますので、その点あの、いろいろ事務局の方の異動とかもあるかと思いますが、そこきちんと、繋いで継続性をもってやっていただけたらと思います。よろしくをお願いします。</p>
進行役	<p>ありがとうございます。学校も教員の人数からクラスから全部変わりますので、合わせて申し伝えさせていただきます。</p> <p>そろそろですね、時間が迫ってきておりますので、この後先生方にもお話をいただきたいと思いますので、そろそろまとめの時期に入ったという風にご了解ください。</p>
委員	<p>先ほど、懇談会での主な意見について、これでいいかというような質問でしたので、一番最後の4ページのですね、一番最後の懇談会での主</p>

	<p>な意見で、図書館跡地の利活用を含めて周辺の区立施設を含めて宮前地域に視野を広げた検討が必要ではないかという、この意見って懇談会のメンバーから出てましたか。私は区の意見かなと思っていて、そこ少し確認したいのですが。区の方の意見ではありませんか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>懇談会の中でも、第4回目くらいですかね、複合化がそもそもありきなのかというご意見の中で、図書館の跡地を何に活用するのかという中で、まだ決まったものはないけれども、様々、保育園の建て替えですとか、集会施設の整備等の中で、地域の課題があるという説明の中でですね、こういったご意見も、懇談会の委員の意見としてもあったという風にとらえております。それを踏まえて、5回目、6回目でこういう他のパターンもお示ししたという流れだったのかなと捉えております。</p>
進行役	<p>よろしいですか。恐らく、この記述だと委員の中から出た意見のように思われてしまうと危惧されているのだと思います。</p>
委員	<p>図書館が跡地になるという発想で話をしていないので、図書館が跡地になるということは図書館がどこかに移動するという事に聞こえるので。こういう意見ではなかったのかなと感じました。</p>
委員	<p>最初の文書だけ消しておいておくのはどうですか。区立施設を含めた・・・</p>
委員	<p>そうですね。それであれば懇談会の全体の雰囲気の見解としてもそれはあるかと思えます。跡地が先に来ってしまうと再利用が、利活用が先に来ってしまうと。それは言ってなかったような。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>わかりました。議論の流れとしてはこのような形だったのかなと思うのですが、最初のところを消させていただいて。</p>
委員	<p>そうしてください。</p>
委員	<p>ただ、実際はこの意見最初は出たんですよ。図書館ここにくるから、あそこは空いて、どういう風に利用するのと。</p> <p>それに関連してなんですけども、宮前地域の視野を広げた検討なんですけども、図書館の後と、隣の宮前児童館もかなり古くなっていると思うんですが、もし、視野を広げた検討が必要なのであれば、古くなっている宮前児童館の縮小方向だと伺ってましたけども、区長が変わられて、それも見直すという風に伺っているので、併せてご検討をお願いしたいと思います。</p>
進行役	<p>それなら、最初の部分がなければいいのではないのでしょうか。ではよろしいのでしょうか。</p> <p>それでは、これで一通りお話し合いをいただいたところで、この後先</p>

	生方からお話をいただきたいと思うのですが、今日一言もご発言をいただいている委員に最後に一言おっしゃっていただければと思います。
委員	皆様のご意見を拝聴しまして、今度新しくまた、懇談会なり、研究会を作るということなので、その時にいろいろな地域としての意見を申し述べたいと思っております。
進行役	ありがとうございました。
委員	懇談会が本当に懇談会として役割を果たしたのかなという感想もっております。この懇談会での意見を踏まえて下さって、新しく区の計画の改定、それで、宮前地域を新しく考えていこう、宮前という名前もまた考えるということで、とてもいい懇談会だったのかなと私は思っております。今後、意見やら要望やらを踏まえて新しく考えていただければ、私はとても嬉しいです。
進行役	ありがとうございます。
委員	私は前回の会議から参加させていただいておりますので、ある程度意見がこねられた状況から、参加させていただいているので、特に熱い思いはないのですが、5回6回重ねて意見を出していただいた方の意見が、上手くまとめられるのは当然なんですけれども、この先、今回7回目で終わりました。新しいものが、より上手い状況で、今まで熱い意見を出してくださった方が居ないという状況ではないことを望みます。
進行役	ありがとうございました。
委員	私も途中からの参加でしたので、またここの学校の卒業生として、子供たちが、本当にこの先、この土地で生きていこうと思うので、いい学校の周辺の地域になっていただきたいと思っています。
進行役	ありがとうございました。ではお願いします。
委員	<p>学校図書館をやってきたものとして参加させていただいてきました。私としても中学校と図書館の複合化というところのスタートからの意見を述べさせていただいた訳ですけれども、数回重ねるうちに、いろいろな問題が出されてきて、滝田委員がおっしゃったように、懇談会の成果としてのところに今、来られたんじゃないかなと思うのですね。それは良かったなと思っております。</p> <p>私としては、他の委員の方がおっしゃったように、やはり中学校教育について後何十年先にも渡って、どういう教育内容に対応していけるかっていう、中身についてはあまり深く掘り下げられなかったとも思って</p>

います。

あともう一つ、図書館についても、私としては世界的な動向の資料を出させていただきましたけれども、杉並の、西宮のこの地区にある宮前図書館として50年やってきたその実績も踏まえて、じゃあ今後はどういふ図書館をこの地区で展開したいと皆さんが思っているのかということも十分に掘り下げられないまま、とにかく建築ありきで始まってしまっていたので、ちょっと先延ばしになってしまうかも知れないけれども、検討できる時間ができたのは良かったんじゃないかなって思っています。と同時に、決まってから検討するというのではやっぱり遅いので、令和5年度、区の方でいろいろとご検討されていくとは思いますが、その間にも住民としても自分たちで勉強し、自分たちで要望をまとめていくという努力もまた、一方で必要じゃないかと思うんですね。図書館としても、日本の先進的な図書館あるいは世界の動向も専門家から講演していただいたり、あるいは市民ワークショップ、中学生ワークショップ、未来の中学生になる小学生のワークショップだとか、それこそ、区がやろうっていうからやるっていうんじゃないかと、住民の自治として住民自らそういう機会を作って意見を区に提案していくことを、もう令和5年度からできる状況になったんじゃないかなと思うんですね。その辺のことを図書館の方でもいろいろな情報提供や比較をしていただける機会があるといいなと思いますし、地域住民の方たちと共に考えていただきたいたいなと思いました。

先進的な例としては岡山県の瀬戸内市の市民図書館は「もみわ広場」といって他の社会教育施設と複合なんですけども、何回も住民で検討していらっしゃるんですね。「もちより・みつけ・わけあう」というコンセプトを出してきたわけですよ。ですから、この宮前、西宮の地区の皆さん達がどういふ住民活動をしていきたいかっていうことも、もっと根本的なところを皆さんで話し合っ、対話していくべきじゃないかな、そういう所に来たんじゃないかなって思っています。現状、今まさにそれをやっているのが石川県の小松市で、関係部署、それこそ集会設備なんかをもっているいろいろな公共施設を使っている人たちに将来的にどういふ活動がしたいだとか、新しい施設だったら何を望むかとか、かなりアンケートをとり、それから市民ワークショップもし、その中の子供編っていうのもやったり、講演会などもやったりして、今報告書としてまとめ、ウェブ上で公開しているんですね。杉並の住民方たちの能力であれば、そういうことはできる状況にあると思いますので、是

	<p>非、住民として何を要望したいかっていうのは積極的に出していける状況になるといいのではないかと思った次第です。</p> <p>あと、建築のことはよくわかりませんが、フレキシブルっていう視点がすごく大事だろうと思うんですね。向こう何十年間か使うことですので、中学校という施設の改築だけを考えても、どこなら住民と共有できるのかっていうところを詰めていけば、パターン③は限りなくパターン②に近づくんですよ。そうするとどうい活動がこの地域の皆さんが、学校や図書館やその他の集会施設でどのような活動をしていきたいかっていうのをやっぱり行政に知ってもら、あるいは自分たちで声を上げていく。そういうふうを持っていただけると凄くいいんじゃないかなって思いました。以上です。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。お願いします。</p>
委員	<p>懇談会の話に関しては先ほど私からも意見を申し上げましたし、あまり時間もないので、その辺については省きますけども、私が今仕事として、公共施設の再編のいろいろな委員会に千葉県で本当にいろいろ関わってますので、行政が進めるような、今のままではなかなか建て替え費用も捻出できないので、公共施設の床面積を削減していくとか、そういうのは非常に理解をしています。その必要性は非常に感じます。一方で、学校施設というのは特殊な事情で、本来であれば公共施設の再編っていうのは大体床面積を減らすっていうことと、あと、公共サービスを充実させることによって市民利用を促して、そもそもの効率化を図るっていう方法と、公共なんだけども収益を増やしていくっていう、いろいろな方法があると思います。</p> <p>ただなかなか難しいのは学校施設っていうのはどれもなかなか当てはめにくい。例えば面積をがつつり減らせるかっていうと、無駄な部分はないかっていうと、確かに少子化で教室が少し空いてきたっていう場合には、そこをじゃあどうするかっていう話もあると思いますが、公共サービスの向上っていうのは、そもそも教育の質を上げるっていうのはそもそも目標になってますし、学校で何か収益を上げるっていうのはなかなか難しいと。そうすると、やはり学校の再編っていうのは地域っていうのも絡めて、なかなかセンシティブな問題ですので、そこは慎重に考えていく必要があるのかなと思います。</p> <p>例えば、皆さんも何人かがご指摘のように、やっぱり少子化になってくる。当然これから作る学校っていうのは、今まで、40年、せいぜい50年くらいのスパンで考えていたんですが、長寿命化ということで、80年</p>

とか場合によっては100年。そうなってくると、器としては長持ちするんだけど、中身がどんどん変わっていくと。そこの変化にどう対応していくのかっていうのは非常に重要です。

それで、最近になってもう将来は少子化になって、高齢化していくので、高齢者施設に転用できる、老人ホームに変えやすくするように最初から学校作るっていうところもあるくらいなんですけど、あんまり最初から老人ホームの学校を作るっていうのも変な話なんですけども、少し教室が減っていく中で、公民館的な部分が拡張していくとか、そういう場合には、廃校にしなくてもですね、徐々に地域利用スペースを増やしていきながら徐々に学校がシュリンクしていくっていうやりかたもあると思いますので、そういった意味での前向きな複合化っていうのも考えられるかなと思います。ただ敷地の制約がある中で、どこまでを開放的な扱いにしていくのかっていうのは慎重な議論が必要になるのかなと。

一方でやはり、これからの学校がどうあるべきかっていうのはいろいろ皆様も議論してますようにやはりかなり変わっていくんじゃないかという風に思います。

たまたま、私が午前中にさきほどちょっと紹介した、埼玉県の大宮国際中等学校っていう僕が計画に関わりまして、良い悪いは別にしても、かなり新しい仕組みを取り入れています。これは市立、さいたま市の設立なので私立じゃないんですが、中学校と高校一緒にしてますけども、2教室ずつですね、A・B・Cのグループを各クラスに作っておいて、Aの組み合わせ、Bの組み合わせ。なので、40人学級まで持っていけるんですが、通常の授業は20数名くらいでやるというような形をとっていますし、教科教室型って言います、ホームルームとは別に数学とか英語とかは別の教室に受けに行くっていう仕組みをとっています。

さらに、高校になりますとコース制に分かれまして、ここは国際バカロレアっていうIBっていう海外の大学に入学できる資格を取れるっていうコースがあるのが売りになってまして、グローバルスタディコースっていうIBのコースと、理系のコース、理系といってもSTEM教育といいますけども、そういう技術科の毛色に特化したクラスと、通常のリベラルアーツという3コースに分かれてやっていますので、結構複雑な仕組みなんですけど、結構やっぱり今もう公立学校でも相当いろいろなことをやっている。

さらに、その学校はかなりいろいろな多目的スペースとかオープンスペースとか、もうそれこそ立派なホール2つくらい持っています。相当

	<p>充実してるんですが、それでもやはりスペースが足りなくなる。全部埋まったら、今もうとにかく、教室以外もどんどんいろいろなところ出て、図書館も相当個室があったり充実しているんですが、それでもやはり、よりその子供たちに特化した教育を進めていこうと思うと、いろいろな設備だったり、施設が必要になってくるということでその辺はやはりこれからの教育を考えていくと。今ある学校以上にいろいろな施設が必要になってきますし、先ほど話があったように特別支援なんていうのも、私インクルーシブ教育のことも調査していますけども、これまでのように孤立して、こう、何か集めておくということではなくて、関西なんかで進んでますけども、なるべく普通の教室っていうか通常の学年の中にどんどん特別支援を放り込んでいながら、なるべく一緒に教育できるような仕組みを整えていくと。そうなってくるとよりスペースが必要になってきたり、取り出し教育をするためのスペースが必要になってくるとか、それこそ少人数学級もかなり出てくるということで、やはり、面積的には相当逆に言うと必要になってくるのが確かにあるのかなど。かといっていくらでもスペースがある、予算があるというわけでは当然ありませんので、限られた予算・空間の中でいかにこれからの時代に合わせた質の高い学校を作っていくのかっていうのは非常に難しい判断になると思いますが、そこはしっかりと議論しながら進めていければいいのかなという風には思っています。私の方からは以上です。どうもありがとうございました。</p>
<p>進行役</p>	<p>どうもありがとうございました。最後に私から、今日が7回目になりますけども、7回にわたって司会を務めさせていただきました。私の能力がなく、いつも時間が多くかかってしまい、お詫びいたします。</p> <p>私自身、学校の校長という立場でいろいろなことを思ったり心配していることがあったのですが、今日皆さんから沢山それを代弁していただけるようなお話をいただきましたので、是非、事務局の皆様も今日の話を受けとめていただいて、またご検討いただければと願っております。</p> <p>それでは最後に、事務局の方から事務連絡ということでお願いします。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>7回にわたって沢山ご意見をいただきましてありがとうございました。本日の会議録につきましては、これまでと同様ですけれども、まとめ次第お送りさせていただきますので、内容をご確認いただければと思います。</p> <p>それから、資料2のまとめの案につきましてはですけども、今日何点か</p>

	<p>ご意見いただいて修正箇所ございます。本来は修正の内容を皆様にお送りしてご確認いただく形をとりたいたるところなんですけれども、今後ですけれども、来週 17 日には教育委員会でこの件ご報告をさせていただいて、6 月には区議会の定例会の方でも、報告していきたいと考えておりますので、今日いただいたご意見に対する修正内容については、大変申し訳ないんですども、事務局の方にさせていただいて、公表という形をとらせていただければと思います。今後のまとめについては、速やかに区のホームページですとか、さきほどからもご意見ありましたけれども、改築ニュースの第 2 号ということで小学校含めて保護者の方々と近隣の方々等幅広く周知をしてお知らせしてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。事務局の方からは以上です。</p>
進行役	<p>はい。それでは本当に最後になりますが、学校整備課長の方からご挨拶をいただければと思います。</p>
学校整備課長	<p>では最後にご挨拶申し上げます。この度は、第 7 回まで長きにわたりますて検討懇談会にご参加いただきましてありがとうございました。私は前回と今回の 2 回だけということになりますけれども、内容をお聞きしますと非常にレベルの高い議論が繰り広げられているということで認識をしております。それもやはり子供たちのためにと、教育環境の充実ということが理由の一つだと思いますし、加えまして地域を含めた街の活性化というか、街づくりという視点からもですね、皆様にはやはり引き続きご意見を伺いながら進めなければならないという風に考えております。これまでいただきました意見につきましてははですね、しっかりと今後の検討に活かしてまいりたいと思いますので、引き続きまた、次の懇談会におきましても、皆様のご協力をいただくことになろうと思いますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。</p>
進行役	<p>ありがとうございました。ではこれにて今回は閉会といたします。ありがとうございました。</p>